

スマートインターチェンジ の設置促進を!



柳 収一郎
議員

問 西部地区における北関東自動車道スマートインターチェンジ設置の取り組み状況と今後の方針を聞きたい。

都市建設部長 栃木県スマートインターチェンジ・追加インターチェンジ整備促進協議会を通じ、国やNEXCO東日本に対する設置要望活動などを進めている。同インターチェンジを地域の振興や本市のまちづくりに必要な施設と捉え、産業や観光、防災など幅広い観点から、周辺道路網や設置位置の検討、費用対効果の検証など多くの課題を整理し、実現に向けた調査研究を進めていく。

◆子どもの遊び場と高齢者の健康

問 都市公園を遊び場としてだけでなく、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々の健康維持と生きがいづくりのために活用すべきではないか。

都市建設部長 公園を新設や更新する際には、地域の方々にご意見を伺いながら健康器具などの設置や転換を図っており、今後も市民の皆様により一層快適に利用いただけるよう取り組んでいく。



▲公園の健康器具(五十部運動公園)

足利大学本城キャンパス の周辺整備を!



黒川 賢男
議員

問 足利大学本城キャンパス周辺の再開発は重要であり、空き家の整理や用地の公有化等、タイムリーに取り組むべきと考えるがどうか。

都市建設部長 同地区の空き家については、周辺環境等への影響や利活用の可能性について現地調査を行うほか、相続等の権利関係調査も行っている。それらの調査結果を踏まえ、整備内容や手法、土地の公有化について足利大学とも連携しながら検討していく。

◆投票時間の短縮

問 投票所の閉鎖時刻を繰り上げる動きが全国的に見られる中、本市でも検討すべきと考えるが所見を聞きたい。

行政委員会事務局長 投票所の閉鎖時刻繰り上げは、夜間の投票者が少ない自治体で実施されている。本市も夜間の投票者は他の時間帯に比べて少ないことから、閉鎖時刻を繰り上げることで立会人等の負担は軽減できると考えられるが、選挙人が投票機会を失う恐れもあるため、期日前投票の利用状況や近隣自治体の動向も注視しながら検討していく。



地区防災計画の策定を 推進されたい!



平塚 茂
議員

問 災害の状況は市内でも異なることから、それぞれの町内で想定される災害や被災時の具体的な避難方法など、地域の実情に応じた地区防災計画を早急に作成すべきと考えるがどうか。

総務部長 本市では市内の全ての自治会に自主防災会が設置され、地域防災のかなめとして防災訓練をはじめとするさまざまな事業に取り組んでいただいている。地区防災計画については、他市町の導入事例等を研究していく。

◆持続可能な高齢者介護サービスの今後の見通し

問 単身高齢者や家族に介護の負担をさせたくない方などは、介護を要する際に施設への入所を希望しているが、団塊の世代が75歳を超える2025年に向けた介護施設の整備計画を聞きたい。

健康福祉部長 第7期介護保険事業計画において、平成31年度末までに特別養護老人ホームの定員を108床分ふやす予定である。今後の整備計画については、待機者数の動向等を踏まえ、次期介護保険事業計画で検討したい。

